

授 業 科目名	【 G 】	教養演習Ⅰ・Ⅱ	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【EF】	教養演習Ⅰ・Ⅱ	選 択 必 修		【EF】 2		【EF】 2
科目区分	基本科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独		【 G 】 【EF】				
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	歴史学研究				担当者	田中 秀典	
授業概要	【概要】	日本の近現代政治史について研究する。受講生の発表と議論を中心に進める。					
	【到達目標】	日本の近現代史がどのようなものか、その概要を説明できるようになる。 歴史学の学問方法を身につけ、自分で研究していけるようになる。					
履修条件	歴史学・日本史・近現代といったものに関心があること。						
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎（よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－（当てはまらない）					
他科目との 関連性	政治経済史Ⅱ、日本法制史Ⅰ・Ⅱ、日本史概論など。						
教科書	受講者の興味関心によって、新書1冊程度を指定するつもりである（特に問題がなければ、坂野潤治『日本憲法史』をと考えている。）。						
参考書	適宜紹介する。						
評価方法	授業への参加度(50%)、発表や課題など(50%)を総合的に評価する。						
フィードバック 方法	発表等に対してコメントする。						
評価基準	授業に出席するのみならず積極的に参加し、課題を達成するとともに、学習した内容をよく理解した者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、出席、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、所定の出席要件を満たさない場合などは「F」とする。						
その他	授業を休まず、かつ遅刻せずに出席して、積極的に取り組むこと。 ※Gカリ:【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】／EFカリ:選択必修(γ)						

授 業	【 G 】	教養演習Ⅰ・Ⅱ	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【EF】	教養演習Ⅰ・Ⅱ	選 択 必 修		【EF】 2		【EF】 2
授業内容	Ⅰ 歴史学の基礎 ・歴史と歴史学 ・歴史学の研究とは Ⅱ 発表のしかたを確認する ・テーマを決める ・資料(史料)を調べる ・内容を検討する ・レジュメを作成する ・発表する ・議論する Ⅲテキストを輪読する Ⅳ各自の発表と討論						
予習内容	発表のための事前準備(調べもの、レジュメ作成など) 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。						
復習内容	不明点などの再検討 授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。						